

第8回国際沿岸防災ワークショップ

～レベル2津波災害からの復旧・復興～

2011年3月11日の東日本大震災津波は、甚大な被害を発生させました。アジア・太平洋地域においては、2004年インド洋大津波以降もインドネシア、南太平洋島嶼国、チリ等各地で津波による甚大な被害が続いています。2004年インド洋大津波直後から開催してきました国際沿岸防災ワークショップでの議論を踏まえつつ、今回のワークショップでは、東日本大震災津波のような発生確率が1000年に1回程度の巨大津波(レベル2津波)の被害からの復旧・復興について、世界の研究者、技術者、国・地方自治体の防災関係者をはじめ一般参加者も交えたワークショップを通して考えます。なお、本ワークショップは、9月6日から開催されます「Costal Structures 2011」(URL:<http://www.jsce.or.jp/committee/ocean/coastalstructures/>)の事前イベントとして位置づけられております。

日時 2011年9月5日(月) 13:00～17:30(受付12:00～)
場所 横浜市開港記念会館講堂

下記のホームページにて参加を受け付けます。

<http://www.cdit.or.jp/>

(Coastal Structures 2011に登録されている方はこちらからの申込は不要です)

○プログラム(予定)

- 13:00～13:20 開会式
- 13:20～15:00 セッション1:東日本大震災における津波災害とその復旧・復興
- 15:10～16:50 セッション2:世界における津波・高潮災害からの復興
- 16:50～17:25 基調講演:今後の津波防災対策
- 17:25～17:30 閉会式

日英同時通訳あり

(社)土木学会継続教育(CPD)プログラム認定(予定)

主催:独立行政法人港湾空港技術研究所・財団法人沿岸技術研究センター・国土交通省港湾局





2011年東日本大震災津波 (名取市) (海上保安庁提供)

○講演者(予定)

- 河田 恵昭 関西大学社会安全学部長・教授
- 野田 武則 釜石市長
- 今村 文彦 東北大学被害制御研究センター 教授
- 古村 孝志 東京大学地震研究所 教授
- 富田 孝史 (独)港湾空港技術研究所 上席研究官
- Dr. Billy Edge アメリカ ノースカロライナ大学教授
- Dr. Subandono Diposaptono インドネシア海洋漁業省
- Dr. Samantha Hettiarachchi スリランカ モラトゥワ大学教授
- チリ研究者・技術者



2005年ハリケーン カトリーナ (アメリカ)

開港記念会館

地下鉄
みなとみらい線

● 神奈川県庁

③ 日本大通り駅1番出口

日本大通り駅

● 横浜地方裁判所

東京電力 ●

中区役所 ●

みなと大通り

横浜市営地下鉄

地下鉄関内駅

● 横浜市役所

横浜スタジアム

② 地下鉄関内駅1番出口

① 南口

JR関内駅

← 横浜

大船 →

横浜市開港記念会館: 〒231-0005 横浜市中区本町1-6
 ホームページ <http://www.city.yokohama.lg.jp/naka/kaikou/>
 アクセス: JR・横浜市営地下鉄関内駅徒歩10分
 みなとみらい線日本大通り駅徒歩1分



2004年インド洋津波 (インドネシアスマトラ島)



2010年チリ地震津波 (チリ)